

## 1. 2020 年度活動報告

- ◇ **消費者庁、消費者委員会、農林水産省等の食に関する審議・施策の情報収集等**
  - ・ゲノム編集技術応用食品の安全性、表示について
  - ・JAS（日本農林規格）（農産物検査の緩和など）
  - ・新型コロナの影響を理由とする食品表示の緩和（20年4月10日～）
  - ・加工食品の表示・情報のスマホ（バーコード）読み取り実証調査
  - ・食品添加物の不使用表示に関するガイドライン検討
  - ・食品表示基準違反（誤表示）の新たな修正方法（21年3月17日～）
  - ・「みどりの食料システム戦略」（農水省） 他
  
- ◇ **「食と健康」学習会の開催**
  - ・「医薬品について知っておくべきこと」～薬を正しく使用し健康に過ごすために～  
日時：12月16日（水）14時半～16時開催  
講師：（公社）東京都薬剤師会常務理事 松本有佑さん
  
- ◇ **「食品表示を考える市民ネットワーク」の活動**
  - ・10年間のあゆみと課題をまとめた「活動報告書・私たちの10年」を3月3日に発行。関係機関や食品事業者等へ発送
  
- ◇ **連携団体主催の集会、学習会への参加**
  - ・食の安全・監視市民委員会（グリホサート、他）
  - ・食品安全グローバルネットワーク（食品添加物の安全性と表示、種苗法改正）
  - ・全国消費者団体連絡会（ゲノム編集食品）他
  
- ◇ **照射食品反対連絡会への参加**
  - ・放射線照射ジャガイモの販売状況、レバ刺しへの照射に関する研究の経過監視、流通事業者へのアンケート調査、申し入れ、ニュースの発行、等
  
- ◇ **食の安全・市民ホットラインへの参加**

- ◇ 主婦会館レストラン製造・販売のアイシングクッキー・ラムネの表示方法について協議
- ◇ 健康食品の広告監視
- ◇ 「機能性表示食品の検証報告開示請求に関する行政訴訟」の傍聴  
機能性表示食品制度の原則・根幹である「消費者への適格な情報提供」を求める裁判の傍聴、担当弁護士の解説拝聴
- ◇ 市販食パンの原材料・添加物・栄養成分表示調査（社会部に協力）

## 2. 2021 年度活動方針

- ◇ 食の安全と表示問題全般について情報収集し、他団体とも連携して必要な取組みを行い、問題の解決、改善を図る
- ◇ 消費者庁、消費者委員会、農林水産省等の食に関する取組みを注視し、必要な働きかけをする
  - ・ 新型コロナの影響を理由とする食品表示の緩和について
  - ・ ゲノム編集技術応用食品の動向
  - ・ 食品表示基準違反（誤表示）の新たな修正方法の運用状況
  - ・ 新しい JAS（日本農林規格）の展開、等
- ◇ 「朝どり」等、消費者を誤認させる表示について調査、問題提起をする
- ◇ 「食と健康を考える学習会」の開催
  - ・ 医薬品について知っておくべきことについて（第 2 回）
  - ・ 食の安全保障（食料生産の他国依存の問題）（案）
- ◇ 食料自給率の向上、地産地消、有機農業の拡大のために出来ることを探る
- ◇ 「機能性表示食品の検証報告書開示請求に関する行政訴訟」の傍聴、支援
- ◇ 「食品表示市民ネットワーク」「食の安全・市民ホットライン」「照射食品反対連

「ネットワーキング」等の活動に参加し、食の問題の改善を図る